

本館内に百年史編集史料室が設置され事務を担当することになり、全学にわたる『京都大学百年史』の編集委員会が活動を開始している。また、寄贈を受けた貴重書「鈴木本今昔物語集」の修復が完了し、3月には重要文化財に指定された。

平成7(1995)年1月に突如発生した阪神・淡路大震災は、本館においては書架から資料が落下する程度の影響で済んだが、神戸市を中心に多大な被害を及ぼし、神戸大学や神戸商船大学への復旧支援が近畿地区の国立大学を中心に取り組み、本学からも多数が支援に参加したことは、不幸な出来事の中での協力活動として記憶に新しい。

電子展示から大震災の復旧支援とこの時代を良く指導した朝尾館長の後任に、平成7（1995）年4月、工学部教授長尾眞が第18代館長に就任した。前年度に重要文化財に指定された「今昔物語集」が、平成8（1996）年6月に国宝に指定され、戦後の文化財保護法（昭和25年）による本館所蔵資料の中で初め

て国宝となった。長尾館長は、先の電子図書館研究会を主宰しており、ネットワーク時代の図書館の在り方について指導的役割が期待された。実際、最新の情報処理技術を導入した図書館業務システムの更新計画、電子図書館計画が実現に向けて歩み始めているし、学内の高度情報化の推進に向けた構想の実現も間近い現状である。また、利用者スペースの機能の充実が行なわれ、閲覧席の増設、雑誌閲覧スペース整備、外国新聞の充実等が実施された。

電子図書館システムを含む業務システムの導入・更新計画を立案し、実現に向けて予算を獲得した長尾館長の後任に、平成9年4月1日、大学院工学研究科教授万波通彦が第19代館長に就任した。万波新館長には、ネットワーク上に展開する電子図書館の実現とともに、21世紀に向けた新しい大学図書館の発展における指導的役割が期待されるところである。

(おく のりこ、かたやま じゅん、こやま たかよし)

***** 図書館の動き *****

[illegible]

新入生オリエンテーションを開催しました

附属図書館では、新年度を迎え新入生のみなさんに図書館の利用方法をお知らせし、大いに利用していただこうと、毎年新入生オリエンテーションを開催しています。

本年度の開催日時は

4月21日（月）～23日（水）

5月14日（水）～16日（金）の各日

12:15～12:45 と 15:00～15:30の時間帯に第1部と第2部を交互に行いました。



(第1部) 附属図書館の利用案内

場所：附属図書館3階 AVホール

内容：1.附属図書館内の施設・設備を
スライドで案内

- 2.利用証・貸出・返却・予約・
更新等の利用方法の説明
3.カード目録とO P A Cの説明
参加者数：249名

(第2部)

場所：附属図書館1階 カウンター前
内容：OPAC/TSSの使用法説明と実習
参加者数：395名

今年も第1部・第2部それぞれ6回ずつ開催し、多くの新生とその他の方にも参加していただきました。第1部のアンケートの回答によりますと（回答数 187）、参加されたのは、新生が 113名で全体の3分の2程度を占め、続いて修士大学院生（28名）、2回生以上の学部生（15名）となっています。

第1部は、スライドと図書館員の説明で、初めての方に附属図書館の利用方法をおわかりいただくためのものでした。説明終了後希望される方に、図書館内を実際に館員が案内してまわるオプションツアーも行い、大変好評をいただきました。



第2部はカウンター前のOPACを使って
実習形式で行いました。資料の検索には必須
のことでもあり、多くの方が参加されて熱心
に聞いていただきました。

また、アンケートでは図書館に対する要望もたくさん書いていただきました。それぞれ検討して今後の参考にさせていただきたいと考えています。

(参考調査卦)

† † † † † † † † † † † † † † † † † † † †

文献収集講座を開催しました

† † † † † † † † † † † † † † † † † † † †

引き続き秋には、論文・レポートを作成しようとする方のための、一歩進んだ図書館の使い方講座を下記の通り開催しました。



-----附属図書館すてき企画-----

論文・レポートのための
文献収集講座

もう迷わない！

図書館の活用で効果的な資料集め

- どんな資料があるの？
- どこにあるの？
- どうやって手に入れるの？